

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	モンセレン顆粒水和剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
FAX 番号	03-4212-9676
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
SDS 作成日	2021 年 01 月 08 日
改訂日	2024 年 09 月 27 日 (03 版)
推奨用途	農薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート（SDS）をご参照ください。なお、次頁以降の SDS 中の製品名や登録番号等が弊社の商品と異なる場合がございますが、弊社の商品名等は本頁の記載の通りとなります。当商品に関するお問い合わせは次頁以降の連絡先ではなく、本頁に記載の連絡先までお願いいたします。

この頁と次頁以降を分離して使用しないでください。分離して使用された場合、当商品の状況を示す SDS とは異なるものとなり、分離した SDS に従い当商品が使用されたことに起因して事故、不具合が生じても、弊社はその損害につき責任を負いかねます。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 365 日 24 時間対応

一般市民専用電話（情報料無料）

（大 阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1 件 2000 円）

（大 阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

安全データシート

作成: 2020年 9月 1日

改訂: 2023年10月17日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : RF028-05
製品名 : モンセレン顆粒水和剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系)

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・臓器(呼吸器系)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害

注意書き

【応急処置】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名／一般名：

1-(4-クロロベンジル)-1-シクロペンチル-3-フェニル尿素／一般名：ペンシクロン

成分及び含有量：	ペンシクロン	50.0%
＜その他＞	鉱物質微粉等	50.0%

化学式： $C_{19}H_{21}N_2OCl$ ／ペンシクロン

官報公示整理番号：安衛法 4-(13)-149 ペンシクロン

CAS No.:	66063-05-6	／ ペンシクロン
	14807-96-6	／ タルク
	68855-54-9	／ 融剤焼成珪藻土

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。石鹸を用いると症状が悪化する場合がある。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：データなし

応急措置をする者の保護：救助者は状況に応じて適切な眼、皮膚等の保護具を着用する

医師に対する特別な注意事項：データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂

使ってはならない消火剤：データなし

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：関係者以外の立入を禁止する。作業の際には保護具（8. ばく露防止及び保護措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入したりしないようにする。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川に影響を及ぼさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項：秤量等の取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに飛沫を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

安全な保管条件：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：鉱物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度(mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度:第1種粉じん(タルク) 吸入性粉じん 0.5mg/m³、総粉じん 2mg/m³ 日本産業衛生学会(2022年度)
 設備対策:取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害
 設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。
 保護具 呼吸用保護具:防じんマスク(例;JIS T8151に適合する防じんマスク等)
 保護手袋:ゴム手袋
 保護眼鏡:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型
 保護衣:作業着、帽子、保護服

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 褐色水和性細粒
臭い	: データなし
pH	1%溶液 : 9.0-12.0
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.6-0.8
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	: ヘンシロン log POW 4.68で20℃
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない	LD ₅₀ : >5,000 mg/kg(ラット)
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない	LD ₅₀ : >2,000 mg/kg(ラット)
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:ミスト)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない	僅かな刺激性があるが区分に満たない(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない	僅かな刺激性があるが区分に満たない(ウサギ)
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: 区分に該当しない	感作性なし(モルモット)
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない	
発がん性	: 区分に該当しない	IARCは、鉱物質微粉(タルク)を非晶質シリカとしてグループ3(人に対する発がん性については分類できない)と評価している。
生殖毒性	: 区分に該当しない	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)	NITEの分類結果では、タルクについて呼吸器への影響が懸念されるため

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系)
 NITEの分類結果では、ヒトの職業ばく露(吸入経路)により、肺機能障害、X線検査において肺の陰影の有症率増加の報告があるとして区分1(呼吸器系)と分類している。

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

以下の知見から、混合物として水生環境有害性(急性、慢性)は区分に該当しないとした。

生態毒性 魚	コイ	: 96時間 LC ₅₀	>1,000 mg/l
甲殻類	オオミジンコ	: 48時間 EC ₅₀	>1,000 mg/l
藻類	緑藻類	: 72時間 ErC ₅₀	950 mg/l
残留性/分解性		: ペンシクロン 急速分解性ではない	
生体蓄積性		: ペンシクロン 生物濃縮因子(BCF) 226	
土壌中の移動性		: ペンシクロン 土壌中の不動性	
オゾン層への有害性		: データなし	
その他		: データなし	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

移送前に、容器の破損、腐食、漏れが無いことを確認する。移送取り扱いは丁寧に行う。

国連分類 : クラス9(有害性物質) 容器等級Ⅲ

国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に従う。

緊急時応急措置指針 : 171 (低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法 : 第20067号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当

毒物劇物取締法 : 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。上記注意事項については通常想定される取扱いを対象としたものであり、特別な扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

引用文献:

- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
- 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
- 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

- 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
- 5) ペンシクロン農薬抄録(FAMICホームページ2010年4月12日掲載)
- 6) NITE-CHRIP有害性・リスク評価情報GHS分類結果
- 7) 厚生労働省GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時～21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1 件 2,000 円)は弊社が負担いたします。